



平成23年12月12日(月) 講師を招き「中学校の社会科を知ろう」を勉強中

## 薫別 まんさくの会

月1回例会

代 表 若杉 将志  
会 員 18名(薫別、崎無異地区)  
会 費 2,400円/年

# しべっ 議会だより

12月定例会

第141号

平成24年2月1日

行政報告 来年度以降も久留米大から医師派遣…2

一般質問 海岸線の浸食対策事業について…3~5

決算審査報告……………6~7

発行/北海道標津町議会

編集/広報特別委員会

# 来年度以降も久留米大学から医師派遣

## 金澤瑛町長の行政報告

### 標津病院の医療体制の充実

11月7、9日に私と田中議長、大野院長、村山事務次長で久留米大学医学部の内科・外科のそれぞれ、引き続き本町への医師派遣をお願いし、来年度以降も派遣をいただけることになった。医療体制の充実・強化に向け、今後もいっそう努力していく。

### 国後展望閣が休業

北見市に本社があるオホーツク観光観光が経営するドライブイン「国後展望閣」が当面の間、事業を休止する旨の報告が町に対しあった。理由は景気の低迷などの観光需要の減少による経営状態にあること、建物背後の海岸浸食が激しく、施設移転の資金確保が困難などのことです。会社としては再開の望みは捨てていないとのことだが、休止となると雇用箇口の

減少、町内小売店との取引、バスツアーのルート変更による観光客の減少など、町へのマイナス影響が懸念されるが、今後の動向を見守っていく。



国後展望閣

### 基幹産業の状況

#### 農業

今年の牧草については作業の遅れがあったものの全体的にはサイレージ・乾燥とともに、平年並みの収量が確保できた。生乳生産量については、10月現在前年同期と比較し約0.2%増の57.880tとなった。販売額は単価が2.6円高い81円62銭と

#### 水産業

今年度の秋サケ定置網漁は前年比24%減の4.997t、金額では前年比4%増の23億5千万円にとどまり、極めて厳しい結果となった。また、漁場間での格差が顕著に現れた。これらのことから、北海道においては漁獲量が低迷している原因の究明や資源回復に向けた調査を実施するのとこととであり、結果が待たれ

なったり飲料乳として、一部が本州方面に出荷されたこともあり、前年同期比、約3%増の47億6千万円となった。固体販売は1.5%減の9億9千万円となった。生産資材の依然とした高止りや牛乳製品の需要の低迷などによる生乳生産を取り巻く環境は厳しい状況下にある。またTPP問題は農林水産業を基幹産業とする本町にとっては、地域の産業経済に与える影響は計り知れない。

るところである。町としても、この度、管内増協や標津漁協と連携を図り「水産総合研究センター」、さけますセンター」などの協力を得ながら、増殖河川の有効な活用に向けた調査を開始した。ホタテ漁は高い単価に支えられ、前年比17%増となる9億4千万円となった。水産加工業は、秋サケの不漁による原魚不足や価格の高騰により関連産業を含めて経営を圧迫している。

### 同意案件

固定資産評価  
委員会委員 **山本 祐一 氏**  
任期 平成23年12月20日～平成26年12月19日

### 意見書

- 漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税等に関する国への意見書
- 環太平洋経済連携協定に反対する意見書  
提出者 総務経済常任委員長 藤巻 国治 議員
- 看護師・介護職員等の大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護、地域医療の拡充を求める意見書  
提出者 文教福祉建設常任委員長 高橋 幹雄 議員

### 一般会計補正予算

一般会計で22件の補正、特別会計では5つの会計で補正が議決されました

# 一般質問

# Q

# &

# A

3議員が6項目にわたり町長と教育長に質問しました

**個人情報保護法に過剰反応。  
福祉・防災に問題あり**

**同意のなか積極的に  
情報提供する**



小川悠治議員

●国も問題提起、情報の積極的活用を市町村に指示

Q 個人情報保護法に過剰反応し過ぎて、福祉や防災が後退している。国も福祉・防災に必要な情報を積極的に提供するよう指示している。

A 新十津川町や千歳市では条例審査会に提案し積極的に情報を提供し、福祉・防災システムを進めている。当町の審査会開催について伺いたい。

A 新年度を福祉ネットワーク実施の元年とした。内閣府からの指摘も

あり、関係者の同意のなか、地域関係機関に積極的に情報を提供し共有したい。町条例にある審査会は現在まで開催していない。



歩道・通学路除雪対応進む1/17

**高齢者への除雪支援、  
施策が一部に届かず**

**高齢者要請を拒否する  
一部町内会、直接申請も検討**

Q 21年の一般質問後、除雪支援が実施された。しかし、一部地域で高齢者の要請が拒否され、支援が行き届いていない。高齢者や障害者が直接申請で

**歩道の除雪!!**

**多くの町民が不満**

**今冬は小型機械導入を  
試行し、次年から本格的に**

Q 通学路など、歩道の除雪強化について町民から強い要望（アンケート）がある。改善策を伺いたい。

A 今年は歩道除雪に3百万円計上した。大型機械のため、細目に出るなかった。小型ロータリーの導入など効率的歩道除雪体制を検討する。

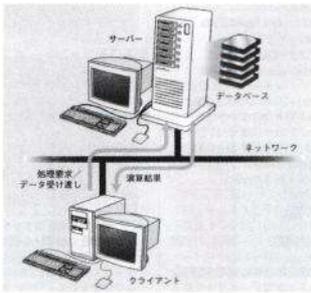
**ウォーキング、冬期間の対応も**

**「望が丘」歩くスキーとの  
仕分け表示を**

Q 四季を通じたウォーキングが地域ごとに定着している、冬期間に環境調整を願いたい。望が丘森林公園で歩くスキーコースとすこやかロードが重複している。

A 望が丘は、歩くスキーとウォーキングコースが混在している。北側・南側の仕分けを表示しお互い協調のなか交流・健康維持の場にした

きるように願いたい。  
A 支援主体となる町内会が高齢者の要請を拒否する一方、受けるほうに過度な要求もあると聞く。町内会長が応えない場合の対応など、事業を検討し、スピード対応する。



- ※1 OS (Operating System)…コンピュータシステムを効率的に使うよう設計されたソフトウェア。基本ソフト
- ※2 ウィンドウズXP (エックスピー) …米国マイクロソフト社が開発したOS。日本語対応版2001年11月発売
- ※3 ウィンドウズ7 (セブン) …米国マイクロソフト社が開発したOS。日本語対応版2009年10月発売
- ※4 クライアント(client) …ネットワークにつながれているサービスを受ける側のコンピューター
- ※5 サーバー (server) …ネットワークにつながれているサービスをする側の高性能コンピューター
- ※6 ツイッター (twitter) …140文字以内の短文を投稿(送信)できるインターネットサービス

## 庁舎内外のパソコンの 管理体制等に関して



藤本 靖議員

**Q** 当町役場でパソコンは現在何台稼働しているのか？使用しているOSの保有比率は？

**A** 現在稼働中の庁舎内外のパソコンは192台である。OSに関しては全て※2ウィンドウズXPプロフェッショナル版(以下「XP」)であり、OSプレインストール1を使用しており、ライセンスは100%取得済みである。

**Q** 平成26年4月末に「XP」のサポート期限が終了するが、最新OSである※3ウィンドウズ7への更新は計画を立てて実施されて行くのか？又、更新の際、スムーズな移行がなされるのか？

**A** 現在使用している業務システムが「XP」

対応となっているが、新年度に於いて、災害時のリスク対応を考慮し、データ管理を北海道情報システム協議会で管理する方式に移行する事を検討中である。これによりOSの制約を受ける事がなくなり、現在使用中のパソコンを併用しながら順次、最新版OSに更新可能となる。OSが更新されても事務処理等に支障のない様、努めていく。

**Q** 職員が使用しているパソコンには様々な情報が入っているが、セキュリティ対策は？

**A** ネットワークセキュリティに関して、総合行政システムの運用主体である北海道情報システム協議会が管理を行っており、ウイルス対策としてウイルスバスターコーポレートエディションを全パソコンに導入している。職員に関するセキュリティに関しては職員個々にパスワードを付与しアクセス制限を行

なっており、人的な問題に於いては、標津町情報セキュリティ・ポリシーにより適切に管理されている。

**Q** 大震災以降、住民基本台帳等のバックアップ体制がクローズアップされているが、10月にサーバーの1台が破損し、その中のデータが殆んど消滅し、事務処理に支障をきたした。バックアップ体制の現状は？

**A** 防災計画の見直しの中で、住民基本台帳等の情報資産の適性管理に関して内部検討を進めている。現在、毎日午後3時時点のデータを記録用テープに保存し、庁舎2階に保管している。(新しい体制ができる迄)個々の※4クライアントパソコンデータが先般、※5サーバーの故障により、不具合を生じた。保守管理側に報告書提出を求めており、その報告に基づき、故障時、災害時に備え、二重、三重のバックアップ対策を検討する。

**Q** 標津町では公式ホームページを公開しているが、その製作、更新方法に関して、どのように実施されているのか？

**A** 当町のホームページの製作は業者委託し、平成15年に立ち上げ、平成21年にリニューアルしたが、現在月1〜2回程度の更新に留まっている。ホームページに限らず、コンピューター管理に関しては、専門の人材配置等を含め、総合的に精査・検討して行きたい。

**Q** 防災行政無線で報道されている当町に関する情報に関して、※6ツイッター等を利用して、住民の携帯電話等に流布する事はできないか？

**A** 現在、当町の防災行政無線は原則として、1件当たり、数字にして140字以内、時間にして30秒以内としているが、実際の放送に於いては、その制限を越える事がある。ツイッターに関しては、秀れた情報伝達手段であると認識しているが現在利用している自治体を参考にして、課題を整理して、利用に向けて検討したい。

## 雇用創出基金 事業に関して

**Q** 現在、町内に於いて道や国からの助成を受けて、雇用創出基金事業(ふるさと雇用及び緊急雇用等の事業)が実施されている。この制度・助成金を利用した事業数並びに雇用人員数は？

**A** 当制度を導入した事業は平成21〜23年度の3年で、活用件数7事業、雇用人員(延べ)21名、助成金総額4,400万円となっている。

**Q** 9月の定例議会に於いて、当制度の継続・改善に関する意見書が決議されたが、導入された事業への評価と今後の動向は？

**A** 導入された事業に対してはどの自治体に於いても概ね、高い評価がなされると思う。が、制度終了後、その事業を自立継続して行く事には課題が残る。当該団体、事業所等より、情報聴取、検証し、方向を検討する。

## 本町海岸線の

## 浸食対策事業について

事業実施に向けて  
関係所管へ粘り強く要請する



南 憲治議員

**Q** 全長約41kmにわたる本町の海岸線は殆ど全域と言って良い程度浸食されている。特に近年は地球温暖化による異常気象などの影響もあり、高潮、高波による浸食が著しい。古くから各地区に於いて、道の事業として、消波ブロックや波返堤防（直立護岸）工事が実施されてきた。新規の事業として、浜古多糠地区、伊茶仁地区、標津漁港地区の事業が進んでいるが、今後の浸食対策についての対応、取り組みについて町としての考えを聞きたい。

**A** 大丈夫だと言う箇所が無い位海岸線は傷んでいる。地球温暖化が進めば爆弾低気圧の頻発、台風、冬の波浪による海岸の浸食が著しく進行する。危険が迫るなど極めて深刻な状態であり、町民の生命と財産、漁業関係施設を活動する上で、大変な状況になっており、重要且つ緊急の課題として捉えている。平成17年に旧土木現業所の所長、幹部に海から海岸線を見てもらい、深刻な状況を捉えて頂いている。

釧根管内からは、1,000箇所を超える要望が出ています。公共工事の削減などで予算の確保は大変難しくなっているが、この海岸対策、海と向き合う本町としては、最大限頑張つてやらなければならず、事業実施に向けて粘り強くやって行く

**Q** 新規の護岸工事が進む中、旧工事の終わった一部の地域では消波ブロックが埋まり、機能しておらず、流し出された泥による沿岸での水産資源への影響が懸念されており、この状態に関し、町としての対応をお聞かせ下さい。

**A** 道内の海岸線を有する市町村の悩みは、同じであり、復旧には、多額の工事費用が必要となる。又工事は難工事が予想される。不機能の個所の現場写真等を持参して、道及び関係所管に要請してきました。大変厳しい条件下であります。海岸線に対する予算確保に努力して行きたい。



東浜町の消波ブロック

## ふ化場取水口への

## 泥水流入対策について

関係機関との連携を  
密にした河川保全を

**Q** 本年7月、管内増協上標津ふ化場の上流で、酪農業の牧草地の斜面が崩れ、ふ化場の取水口となる川が泥水状態となったとの報告があった。7月は既にさけ稚魚の放流、下降済であったが、飼育期間中であればさけ資源に大きな影響が出たと思う。この件について町としての見解をうかがいたい。

**A** 泥水、土砂流に関しては、本年度は、施設上流部に沈砂池を設置し、応急的な対策を講じた。この件に関しては、本町としても難しい課題であります。酪農業に密接する水産業、酪農業に密接に関係を及ぼすため重要な課題であると認識している。関係機関と連携を密にし、河川の更なる保全につとめる。標津町の管理する河川においても同様に河川の保全に努め、減少するさけの阻害である因子、この原因を関係所管ともども究明し、対策を講じるのが一番だと思っておりますのでご理解願います。



忠類川左岸附近

# 決算審査報告

平成22年度決算審

査特別委員会が10月

17日から19日までの

3日間にわたり開催

され、次の意見を付

して認定されまし

た。

## 審査意見

1、町の政策全般に  
わたり、それぞれの  
業務執行担当（原  
課）は庁内関係課及  
び関係機関はもちろ  
んのこと、町内各関  
係団体との連携をよ  
り強化し政策の効率  
化に努め、例えば福  
祉政策を進めるにあ  
たっては、社会福祉  
協議会との連携の特  
に強化するなど、今  
日の高齢化社会での  
町民（対象者）が求

めている政策及び事業  
の執行実現を図るこ  
と。

2、「美しく彩りのあ  
る町づくり」に対する  
町民の関心・評価が高  
まる中、一部町営住宅  
及び町有地等周辺に雑  
草・ゴミ、更には全町  
区域内主要道路に各種  
目的別ビジュアル看板  
が破損等そのまま放置さ  
れている現状があり早  
急に改善すること。

3、基幹産業である漁  
業のサケ定置網漁が、  
漁獲量において3年連  
続の厳しい状況にあ  
り、生産者は勿論のこ  
と関連する水産加工  
業・雇用・運送業な  
ど、極めて重大な局面  
と言わざるを得ないた

め、関係機関・専門機  
関を一同に会した協議  
を実施しスピードある  
対策と対応を講ずるこ  
と。

4、町財政については  
基幹産業の低迷、加え  
て東日本大震災の復興  
等による町税をはじめ  
国からの交付税の削減  
など、今後厳しい財政  
運営を強いられること  
が予想されることから、  
毎年監査委員並び  
に決算審査特別委員会  
によって指摘されてい  
る公的収入金の収納の  
確保に万全を期さなけ  
れば、自主財源の確保  
や住民の公正負担を著  
しく損ねる観点から、  
徹底した対策・対応を  
講ずること。

め、関係機関・専門機  
関を一同に会した協議  
を実施しスピードある  
対策と対応を講ずるこ  
と。



平成24年輝かしい一年の始まり

## 歳出合計 8,879,274千円

○一般会計

6,134,985千円

○特別会計

2,744,289千円

総務費	13.4%	825,112千円
○彩り千本桜植栽事業 ○ステップⅡ推進基金積立金 ○ふるさとリフレッシュ基金積立金 ○地域開発促進調査事業		

民生費	10.2%	623,710千円
高齢者、障がい者、保育園など福祉に関連する経費		

衛生費	10.4%	639,567千円
各種検診やゴミ処理、環境対策などの経費		

農林水産費	13.2%	807,108千円
農業や林業、水産業の振興などの経費		

商工費	2.3%	143,142千円
-----	------	-----------

土木費	12.3%	757,400千円
町道の整備、町営住宅管理除排雪などの経費		

消防費	3.9%	239,553千円
消防団員の報酬、消防施設管理の経費		

教育費	7.9%	485,783千円
標津きらり大学開校経費など 標津高等学校存置に向けた取り組み		

公債費	10.9%	666,747千円
町の借入金の元金の償還及び利子の支払に要する経費		

職員費	14.4%	881,160千円
特別職や職員の給与に関する経費		

その他	1.1%	65,703千円
議会費、労働費		

国保事業勘定	851,614千円
介護事業勘定	374,374千円
介護サービス事業勘定	28,150千円
老人保健	606千円
後期高齢者医療	102,480千円
簡易水道	195,107千円
下水道	340,601千円
金山休養施設等	13,210千円
サーモンパーク	71,224千円
病院事業	

収益的支出	664,609千円
資本的支出	102,314千円

# 決算総括表 (平成22年度会計歳入歳出決算総括表)

## 歳入合計 9,112,815千円

○一般会計

6,374,140千円

○特別会計

2,748,675千円

町税	9.9%	634,143千円
町民の皆さんから町に直接収めていただく税金。町民税、固定資産税、軽自動車税		

繰入金	1.4%	87,848千円
繰越金	2.3%	144,024千円

分担金及び負担金	4.1%	260,810千円
使用料及び手数料	1.5%	94,337千円
財産収入	0.4%	24,887千円
寄付金	0.1%	4,616千円
諸収入	1.9%	119,661千円

地方交付税	48.2%	3,075,401千円
※国から町に交付されるお金。国税のうち所得税、法人税、たばこ税、酒税や消費税は町の財政力に応じて交付される。		

国道支出金	16.0%	1,020,648千円
※特定の事業を行なう場合にその経費に充てるために国と道から交付される負担金や補助金など		

町債	10.5%	671,149千円
施設の建設や土木工事など多額の経費が必要な時国や金融機関から借りるお金。		

地方譲与税等	3.7%	231,413千円
--------	------	-----------

国保事業勘定	877,979千円
介護事業勘定	386,927千円
介護サービス事業勘定	28,150千円
老人保健	606千円
後期高齢者医療	102,790千円
簡易水道	195,163千円
下水道	340,601千円
金山休養施設等	13,210千円
サーモンパーク	71,224千円
病院事業	
収益的収入	629,711千円
資本的収入	102,314千円

※繰入金…基金などの積立金から取り出すお金

寄稿

# 交渉不要な関係をつくる

## ―説得や交渉が上手なことが、 コミュニケーション能力ではない―

標津町商工会

事務局長 高橋 彰



ビジネスをする上で欠かせないものの一つに、「コミュニケーション」がある。市場という存在を相手にする以上、社外へ向けての「コミュニケーション」をなしに済ませるわけにはいかない。

交渉も含め、「コミュニケーション」により社内・社外を動かし、目的を達成する。それを関連かつ自在に行なうことができるなら、「ビジネスパーソン」として優秀だということになる。

三年ほど前の経済誌に、「北京五輪出場を目指す野球の日本代表」の記事が掲載された。監督を務めるのは星野仙一（現楽天監督）氏であ

る。

記事は、田淵幸一氏、山本浩二氏、大野豊氏の代表コーチ就任が発表されたことを伝えていいる。彼らの就任にあたっては、どのような「交渉」がなされたのだろうか。

田淵氏は、次のようにコメントしている。「要請というより『行くぞ』で終わり。説明もなかった。」山本氏に至っては「分かっているだろうな、という話。断る気はまったくなかった。」とのことだ。

星野監督と田淵氏、山本氏は、東京六大学リーグ時代から親交の深い間柄だ。だからこそ、このような「コミュニ

ケーションで十分に思いが伝わる。交渉の必要すら、ない。

もしかしたらこれは、コミュニケーションが目指す究極の姿ではないだろうか。交渉スキルの強化に努力するのにも結構だが、理想は交渉のいらない関係づくりだ。

ビジネスの世界では、商品の価格や品質・性能の他に、「顧客密着」もまた、強力な差別化策となる。

顧客側からみた「顧客密着」のメリットの一つは、コミュニケーションを省略できることである。常宿のホテルに泊まるなら、チェックイン時の記帳の手間を簡素化して

欲しいと思う。行きつけの料理屋で注文する際は、「いつもの」で済ませられるとありがたい。

言葉での「コミュニケーション」が不要となるほどの親密な関係。それが目指すべき状態である。別のことばで表現すれば、「信頼」だ。「信頼」は、コミュニケーションのコストを下げる。例えば価値あるブランド品に、冗長（じょうちよう）な商品説明は必要ない。

説得や交渉のテクニックを磨く前に、それを不要にするために何ができるか、考えてみる。コミュニケーションにおける苦労は、大幅に軽減されるはずではなからうか。

## 編集室



今年も私も年男として新しい年を迎えました。みなさまあけましておめでとございます。平成24年広報担当委員として町民の皆様により分かりやすい議会だよりの発行に努力いたします。さて、昨年は国内国外とさまざまな事件がありまして。平成23年3月11日に発生した東日本大震災、今でもあの津波の悲惨な画面が私の脳裏に焼き付いています。あれから年が明けた今年には本格的な復興元年です。私たちも全国のみなさんとともに頑張ろう。そして私たちの町標津においてもこの教訓を忘れる事なく行政と町内会が一丸となって町民の安全と安心を心配りたいと思っております。  
(石橋昌幸)

議長 田中 孝幸

広報特別委員会

委員長 大垣 勇

副委員長 南 憲治

委員 石橋 昌幸

委員 吉田 智